

講座名：「AED を用いた蘇生法・日常生活で活用できる介護予防」

講師：四十竹 美千代(看護学部 教授)
中野 元(看護学部 准教授)
池上 萌絵(看護学部 助教)

開 講：2024 年 6 月 26 日、7 月 3 日、10 日、17 日(計 4 回)

2024 年度春学期に開講された市民未来大学 健康・趣味・教養コース「AED を用いた蘇生法・日常生活で活用できる介護予防」では、受講生たちが実技を交えながら蘇生法や介護予防などについて学びました。ここでは今年度の学習内容や受講者の様子についてご紹介します。

AED を用いた蘇生法及び家庭で活用できる応急処置

一次救命について学び、モデル人形を用いて胸骨圧迫（心臓マッサージ）や AED の使用の一連の流れを実践しました。最初は胸骨圧迫の深さや速さが不十分であり、AED の準備に戸惑う場面も見られましたが、練習を重ねるごとに、スムーズに一次救命の流れを行えるようになりました。また、家庭で活用できる応急処置として包帯法についても学びました。受講者は、万が一の事態に備え、適切な応急処置を習得することの大切さを実感していました。

日常生活で活用できる介護予防

起き上がり動作や車いすなどへの移動動作の介助方法を学びました。介護を必要とする人に自立を促す介護を行うためには、普段私たちがどのように自然な動きで起き上がったり座ったりしているかを知ることが重要です。受講生たちは、どのように説明すれば自然な動作をとることができるかを考え、実際に動作を行いながらお互いに意見を出し合い、介助の方法を学んでいました。

講座の様子



【お問合せ】
城西国際大学 社会連携課
Mail: clics-jim@jiu.ac.jp
TEL: 0475-55-7685